

1968年4月12日 土曜 式



誰かの挑戦を、
空は待っていた。

1968年4月12日。

霞が関ビルディングが竣工しました。

日本初の超高層ビル、地上147m、36階建て。この1棟のビルから、日本の街づくりは大きな一歩を踏み出したのです。国土の狭い日本において、「空」という大きな可能性を開拓した。緑地や広場などを敷地内に配することで、都市に人間性をとり戻す流れを生み出した。このビルを完成させるための新しい発想と工夫が、次なるイノベーションの礎となった。あらゆる点で、日本の都市開発、日本の街づくりのターニングポイントでした。

以来、50年、三井不動産は、時代の変化を的確に捉えながら、柔軟な発想で新たな価値創造に挑んできました。そして、次の50年へ、これからも三井不動産は、未来を見据えてさらなるイノベーションへの挑戦を続けていきます。あの1棟のビルが示した道と、想いとを、決して忘れずに。

2018年4月12日、
霞が関ビルディングは
竣工50年を迎えます。



都市に豊かさと潤いを。
三井不動産の挑戦は続きます。